

令和４年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立中央区南老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課(電話:06-6208-8054)
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足と回答される方」の割合
数値目標	84.6%以上(26ある老人福祉センターで実施(H30年度～令和2年度)したアンケートの平均)
指定管理者名	社会福祉法人大阪市中央区社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	満足と回答される方の割合
数値目標	84.6%
年度実績	92.5%
達成率	109.3%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	9,365	6,851	2,514

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績－計画)	主な要因
業務代行料	実績	16,699,000	16,689,000	-10,000	—
	計画	16,709,000	16,689,000		
その他	実績	31,000	26,945	31,000	—
	計画	0	300,000		
合計	実績	16,730,000	16,715,945	21,000	—
	計画	16,709,000	16,989,000		

支出		当年度	前年度	差異(実績－計画)	主な要因
人件費	実績	13,737,098	14,170,455	-374,902	—
	計画	14,112,000	14,112,000		
物件費	実績	2,605,853	2,052,892	8,853	—
	計画	2,597,000	2,877,000		
合計	実績	16,342,951	16,223,347	-366,049	—
	計画	16,709,000	16,989,000		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1)成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足と回答される方」の割合	109.3%	B	感染症による影響がある中で、本市が定める水準を達成している。

(2)市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・節電及び比較見積調達による経費節減。	B	光熱費の高騰があったが、節電を行うなど、市費の縮減に努めた。

(3)管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・消防用設備等自主点検表(日常)により点検することにより利用者の安全管理を図っている。 ・感染症対策のため、受付窓口で検温及び手指消毒などの対策を実施している。
事業計画の実施状況	B	・健康維持シニア体操等の多数の申込みがある講座等について、より多くの利用者に参加してもらうため抽選を導入するなど、工夫しながらセンター運営に努めている。
施設の有効利用	B	・職業体験学習として学生を受け入れるとともに警察書と連携した啓発行事を実施など地域関係団体等と連携している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・個人情報保護規程などを定め、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、ごみの分別廃棄を徹底するなど実効性のある取組を行っている。

令和4年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

(1)調査方法 センター利用者に対してアンケート調査を実施
(2)回答者100人(未記入者含む)
(3)質問項目 ア 基本的な事項(年齢、居住区等) イ 満足度 ウ 感染症による影響、所持している電子機器等
(4)結果 ・総合満足度において、満足(やや満足)と回答される方が92.5%となっており、利用者の満足度は非常に高い。

6 外部専門家意見

1 事業報告書の記載について、以前と比べ改善が見られPDCAを意識し記載されている点は評価できるが、より一層わかりやすい内容となるように改善していただきたい。
2 センターだよりは重要な広報媒体であるため、より読みやすくするためにもフォントの拡大及び毎月の事業報告にコメントの追加を検討していただきたい。
3 受付時の利用者との会話を密にしてアンケートの回収率を高める工夫を行っていただきたい。
4 世代間交流において、センター利用者にボランティアを募る働きかけをされたことは評価ができる。ただ、事業全体に対する利用者の参画がまだまだ弱いことから企画段階から積極的に利用者が関わっていくような仕掛けづくりについて検討していただきたい。
5 男性または60代の利用者について、将来センターを利用しようと思えるようなニーズのキャッチと事業企画運営が必要であるため、情報把握しながら取り組んでいただきたい。
6 センターだよりについては、多くの人が目にするような駅・医院・スーパーなどへの配架を検討いただきたい。
7 ボランティア・人材育成に関して、法人のボランティア育成の取組と連携協働して、センターにおいてもその一端を担えるような役割を果たしていただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	感染症による影響がある中で、本市が定める基準を達成しており、本市全体を上回っている状況である。
市費の縮減	B	事業計画に基づき効率的に管理運営を実施。
管理運営の履行状況	B	利用者がセンターで楽しむだけでなく、地域でも活躍していただけるような工夫やより多くの利用者に参加してもらうため抽選導入も行うなど工夫したセンター運営を行った。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	本市が期待する管理運営を行った。